

大気環境測定結果

中央卸売市場では、平成 19 年 2 月に大気環境測定調査を実施した。全市場（11 市場）40 箇所、市場の休市日を含む連続した 3 日間に、環境基準に定める 4 物質を測定した。調査対象の 4 物質の特徴は下表のとおりである。

調査物質	市場での発生源	性質・影響等
二酸化窒素 (NO ₂)	主として自動車 (燃料の燃焼)	・呼吸器疾患の原因 ・酸性雨及び光化学スモッグの原因物質
二酸化硫黄 (SO ₂)	主としてディーゼル自動車 (燃料の燃焼)	・呼吸器疾患の原因 ・酸性雨の原因物質
一酸化炭素 (CO)	主として自動車 (燃料の不完全燃焼)	・酸素欠乏による中毒の原因 (頭痛・意識障害等)
浮遊粒子状物質 (SPM)	主としてディーゼル自動車 (燃料の燃焼)	・粒子が細かく軽いため、大気中に滞留する ・呼吸器疾患の原因

今回調査では全 11 市場のうち、7 市場は全ての測定物質、全ての地点で基準を達成していた。環境基準を超過した市場は、築地・淀橋・北足立・葛西の 4 市場で、超過物質等は下表のとおりである。

「環境基準」：環境基本法に基づき、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で望ましい基準のこと

環境基準	二酸化窒素 (NO ₂)	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)
市場	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの範囲内又はそれ以下であること	1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ 1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること
築地市場	8 箇所中 5 箇所 (1 日平均値) 0.055 ~ 0.078ppm	8 箇所中 3 箇所 (1 日平均値) 1.5 ~ 23.2ppm (8 時間平均値) 2.1 ~ 30.3ppm	
淀橋市場	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.038 ~ 0.063ppm		3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.028 ~ 0.104mg/m ³
北足立市場	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.046 ~ 0.061ppm		
葛西市場	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.052 ~ 0.066ppm		